

講座の成果をみんなに披露

第22回働く婦人の家講座発表会

第22回働く婦人の家講座発表会が10月29・30日、三里木町民センターで開催されました。

展示発表の部では、子ども書道、絵手紙や手工芸など数多くの作品が展示され、中でも177本のうちわに各講座を紹介したものがとても好評でした。ステージ発表の部では、民舞、ダンスや英会話などが披露され、日頃の練習の成果を大勢の人の前で発表しました。

2日間で約700人の来場者があり、子どもから大人まで大勢の人でにぎわいました。



▲「さわやか軽運動」講座生の発表

被災地の友達にお米を届けよう

菊陽北小学校で義援米の稲刈り

菊陽北小学校5年生が10月11日、東日本大震災で被災した小学校に贈る義援米の稲刈りをしました。

児童たちは種から育てた苗を6月に田植えし、このほど収穫となりました。6㍓の田んぼで収穫した稲は約250^{kg}。児童たちは「稲刈りはきつかったけど、被災地の友達が喜んでくれることを考えながら収穫した」と話しました。

12月初めには、熊本青年会議所を通じて岩手県宮古市の赤前小学校に届けられる予定です。



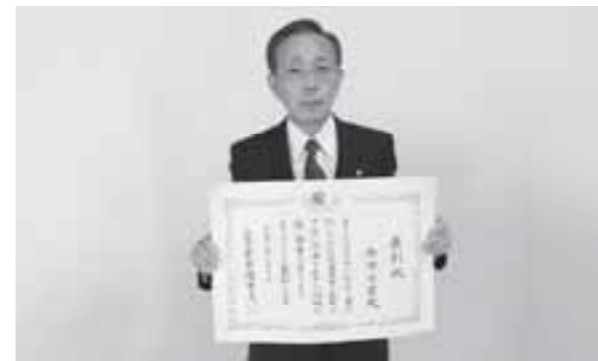
▲義援米を収穫する児童たち

保護司の西田力男さんが法務大臣表彰受賞

県更生保護事業功労者顕彰式

西田力男さん(武7町内)が11月1日、県更生保護事業功労者顕彰式に出席され、法務大臣表彰を伝達されました。西田さんは保護司として活躍され、保護観察処分となった人の更生のための支援などに16年間尽力された功績で受賞されました。西田さんは「これからも更生そして予防のために関係機関と連携し活動していきたい」と話しました。

また、西田さんは、11月に県教育委員会での長年の功績から瑞宝小綬章を受章されています。



▲保護司として法務大臣表彰を受賞した西田力男さん

改世順子さんが法務大臣表彰受賞

人権擁護委員に対する法務大臣表彰受賞

地域に密着した活動を行う人権擁護委員の改世順子さん(三里木)が、人権擁護制度の普及に貢献したことが認められ、法務大臣から表彰されました。

人権擁護委員とは、国民の基本的な権利が侵害されないよう監視し、もしこれが侵害された場合には、その救済のために適切な処理をとり、常に人権尊重思想の普及高揚に努めることを使命としている人です。改世さんは、平成11年2月1日から現在まで、5期12年にわたって活動されています。



▲人権擁護委員として法務大臣表彰を受賞した改世順子さん

読書感想画の特選作品が決定!

第22回菊陽町読書感想画コンクール

町内の小・中学校8校の児童生徒が夏休みの課題や授業で制作した読書感想画約3,900点の中から、審査の結果、次の作品が特選に選出されました。

受賞作品は、12月12日(月)まで菊陽町図書館に展示していますので、お立ち寄りの際はぜひご覧ください。

受賞者一覧(敬称略)

学年	氏名	学校名	学年	氏名	学校名	学年	氏名	学校名
小1	あらた ひびな 荒田 響菜	菊陽中部小学校	小3	ひぐち ひろや 樋口 博哉	菊陽西小学校	中1	しまだ 仁之介 嶋田 仁之介	菊陽中学校
	ながの りおな 長野 莉音那	菊陽北小学校		はたが かずみ 旗生 佳純	武蔵ヶ丘小学校		かみで はやと 上出 隼司	武蔵ヶ丘中学校
	いなば かずよし 稲葉 一義	菊陽西小学校	小4	うえの あやか 上野 綾華	菊陽西小学校		しもだ なつき 下田 夏生	菊陽中学校
ふどう ゆうしん 不動 雄心	菊陽北小学校	どい みいな 土井望以奈		武蔵ヶ丘北小学校	くどう とちみ 工藤 朋美		武蔵ヶ丘中学校	
小2	つる みさき 津留 美咲	武蔵ヶ丘小学校	小5	なべしま なこ 鍋島菜々子	菊陽南小学校		ひろよし みく 廣吉 美紅	菊陽中学校
	ふじた りこ 藤田 理子	菊陽西小学校		さいとう よしき 斉藤 芳紀	菊陽北小学校		あだち みく 安達 未来	武蔵ヶ丘中学校
小3	よしむら ゆうき 吉村 裕貴	菊陽西小学校	小6	ふじもり けんた 藤森 健太	武蔵ヶ丘小学校	しかの はるな 鹿野 晴菜	武蔵ヶ丘中学校	
	しもせ ちゆ優 下瀬 知優	菊陽中部小学校		たしろ ひろかず 田代 寛和	武蔵ヶ丘小学校	なかむら ゆうや 中村 友哉	武蔵ヶ丘中学校	
	あべ しょうた 阿部 翔大	武蔵ヶ丘小学校	小6	しまだ くりひこ 嶋田 栗彦	菊陽西小学校	あいかわ りな 相川 理奈	武蔵ヶ丘中学校	
たじま けいだい 田嶋 慶大	武蔵ヶ丘小学校	やまもと あやか 山本 絢香		菊陽西小学校	うめだ まこと 梅田 真琴	武蔵ヶ丘中学校		

相川理奈さん
題名…海底2万マイル
の巨大生物



1.4トンの二酸化炭素削減に成功

「節電21」みんながたグリーンクラブ実績報告会

環境省がモデル事業として地域指定を行い、全国地球温暖化防止活動推進センターが提唱する「節電21」に取り組んだ「みんながたグリーンクラブ」の実績報告会が10月31日、南方公民館で行われました。

南方区22世帯が、昨年と今年の夏の電気使用量を比較し、全体で9.6%の削減に成功しました。これは二酸化炭素に換算すると約1.4トにもなる量です。同会の丸林栄喜さんは「無理をせず、できる事をやっただけ。冬も節電に取り組みたい」と話しました。



▲みんながたグリーンクラブの皆さん

グリーン(ゴーヤ)カーテン菊陽が「特別賞」受賞

「くまもとストップ温暖化大賞」

「くまもとストップ温暖化大賞」の表彰式が10月17日に県庁で行われ、本町のグリーン(ゴーヤ)カーテン菊陽が栄えある「特別賞」を受賞し、知事から表彰されました。同団体は地球温暖化防止を目的として組織された町内有志によるボランティア団体です。同団体は、ゴーヤカーテンの普及を広く町内外に行い、その活動が高く評価され受賞されました。

紫藤英二会長は「今後も町内外に幅広くゴーヤカーテンを広めたい」と目標を話しました。



▲グリーン(ゴーヤ)カーテン菊陽の皆さん

暴力団 排除すすめる みんなの輪

第23回熊本県暴力追放県民大会in菊陽

公益財団法人熊本県暴力追放運動推進センターと菊陽町の共催による熊本県暴力追放県民大会in菊陽が11月8日、図書館ホールで開催され、町内外から約700人がつめかけました。

同センターの本田一理事長は「暴力団の対立抗争、不法行為は県民に脅威を与える。暴力団を社会から排除するために連携して取り組んでいこう」とあいさつ。後藤町長は「町でも暴力団排除条例を定め、県内外に宣言した。人々が安心して生活できるような町を目指していく」とあいさつしました。

その後、菊陽町区長会の山田亮会長が、暴力のない安全安心な熊本県の実現を目指す「大会宣言」を読み上げると、満場の拍手で採択されました。

大会では、これまで暴力追放に尽力した人・団体への表彰、特別講演や熊本県警音楽隊によるコンサートが行われました。会場にいた誰もが一体となり、暴力追放の輪を広げていこうと強く決意した大会となりました。



▲暴力追放を強く決意



▲大会宣言を読む山田区会長



▲功労者4人を表彰

自慢の健脚を競い合う

第25回菊陽町にんじんの里マラソン大会

第25回菊陽町にんじんの里マラソン大会が11月6日、菊陽杉並木公園とその周辺をコースとして行われ、町内外から大勢の参加がありました。

参加者は、2*₅、5*₅、10*₅の3コースに分かれて杉並木公園をスタート。

当日はあいにくの雨模様でしたが、参加者はずぶぬれになりながらも沿道の観客からの声援を受け、自慢の健脚を競い合いました。ゴールした後は、みんな力を出し切ったことに満足しているようでした。



▲一斉に走り出す選手たち

楽しい時間が届きました

菊陽町保育所保護者会主催いちごくらぶコンサート

菊陽町保育所保護者会が11月5日、子育てコンサートを開催しました。

当日は、子ども向けに楽しい時間を届けている「いちごくらぶ」の歌や踊り、そして保護者と園児で構成された「パパママダンサーズ」と一緒になったステージが繰り広げられました。

いちごくらぶの楽しい歌と踊りの後は、バルーンアーティストの藤岡秀和さんが風船を使って動物などを組み立て、子どもたちを大いに盛り上げました。



▲一緒に歌って楽しむ園児たち

せんてい 生垣の剪定で地元住民と学生が交流

第30回鉄砲小路生垣剪定作業

第30回鉄砲小路生垣剪定作業が11月13日、鉄砲小路区で行われ、学生30人が東海大学農学部長野克也教授と地元住民の指導を受けながら約4*₅にわたり生垣の剪定を行いました。

この作業は昭和57年から続く、地元住民と東海大学農学部の学生でつくる「緑の会」との交流事業です。

作業の後は、地元婦人会が用意した手づくりのだご汁やおにぎりなどを食べながら、地元の皆さんと学生たちが交流を深めました。



▲生垣を剪定する学生たち

松浦さんが高円宮杯サッカー全国大会へ出場

第23回九州ユース(U-15)サッカー選手権大会

高円宮杯全日本ユース選手権予選を兼ねた第23回九州ユース(U-15)サッカー選手権が10月8～10日、長崎県島原市で行われ、武蔵ヶ丘中学校3年生の松浦健斗さん(新成)が所属するロアッソ熊本ジュニアユースが全国大会への出場を決めました。

松浦さんは「チームのみんなとやれる最後の大会なので、一試合でも多く勝ち上がっていけるよう頑張りたいです」と話しました。全国大会は、12月23日から佐賀県など九州4県で行われます。



▲ロアッソ熊本ジュニアユースに所属する松浦さん(右)

ふるさと 音楽で菊陽の魅力を共有

みんなできくよう♪コンサート

みんなできくよう♪コンサート「Quatuor Bリサイタル」が10月22日、図書館ホールで行われました。このコンサートは、(財)地域創造の「公共ホール音楽活性化事業」に採択され、菊陽町図書館ホールで初めての自主文化事業として実施されました。

コンサートに先立ち、20・21日の2日間実施されたアクティビティ(地域交流)では、Quatuor Bのメンバーが町内の小学校4校を訪問。「ふるさと」をテーマとしたミニコンサートでは、児童たちがプロの演奏家が奏でるサクソフォーンの音色に聴き入っていました。また、児童が校歌の詩を朗読し、ふるさとの良さを再認識しながら、Quatuor Bの演奏に合わせて大きな声で歌いました。

22日のコンサートでは、クラシックやポップス、童謡などが演奏され、サクソフォーンアンサンブルの醍醐味を存分に味わえるステージとなりました。また、アクティビティの様子も映像で紹介され、観客の感動を呼んでいました。「素晴らしい音楽」と「ふるさと：菊陽町の魅力」を共有できた3日間となりました。



▲“サクソフォーン”の紹介もあったアクティビティ(西小)



▲リサイタルでは「給食交流(武北小)」の様子も紹介されました